

樽病だより


こころ

第2巻 第2号
発行日
平成19年7月
市立小樽病院広報委員会
電話25-1211

身近に感じる薬局を目指して

薬局長 新岡正法

病院では、多くの医療従事者がそれぞれの専門性に基づいて患者さまの治療にあたっています。各職域によって患者さまに対する姿勢や取り組み方はそれぞれありますが、常に患者さまを中心に据え、相互に緊密な連携を取りながら、各機能を全力で発揮させて「チーム医療」を実践していく必要があります。そのような中、薬局では医師の治療方針や医療行為に沿った形で、お薬のプロとしての専門能力を発揮し、患者さまにより安全で、そしてより質の高い医療を提供することを目標として業務を行っています。その目標に少しでも近付けるため、日ごろから薬学的な知識の研鑽を積むことはもちろんのことですが、患者さまと接するに当たりコミュニケーション能力を身に付けることも必要です。患者さまそれぞれにも窓口やベットサイドでの患者さまとの会話は大切な情報源となります。実際に聞く患者さまの声は非常に重要と考えています。また、患者さまとの関わりも一時的なものではなく、いろいろな観点から継続的に時間をかけて関わっていくことで、薬剤師が「患者さまにとって近い存在」として感じていただけるよう、精一杯頑張っていきたいと思っています。



6月1日から、当院では薬袋のデザインを刷新して見やすくし、薬品名も印字するようにしました。また、外来の患者さまには、薬剤情報提供用紙も毎回お渡しできる体制とし、お薬に関する情報を少しでも患者さまにお伝えできるよう改善しています。

薬局では、患者さまがお薬に関して安心して使用できるよう、まだまだ充分ではありませんが、これからも皆さまの信頼に応えるために努力していきたいと思っていますので、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。



市立小樽病院基本理念

(病院理念)

良質の医療、信頼の医療を優しさと思いやりをもって提供する病院

地域の中核医療を担う市立病院で働く職員、医療人としての使命感を持ち協調して行動する病院

(基本方針)

- ・科学的でかつ良質・効率的な医療の提供を目指します。
- ・医療の安全管理に最大の努力をばらいます。
- ・患者さまの満足度の向上に努めます。
- ・患者さまの権利を尊重し患者さま本位の人間味あふれる医療を行います。
- ・市立病院は市の行政施策のひとつとして存在することを認識し行動します。
- ・地域の医療機関や福祉施設等の連携等により地域完結型の医療を推し進めます。
- ・医療の使命に情熱を燃やす職員集団として日々研鑽に励みます。
- ・職種、診療科を超えたチーム医療に徹し病院の総合力を発揮します。
- ・良質で安全な医療を提供するため経営健全化に努めます。

健康のはなし

膀胱について

ぼうこう
膀胱は腎臓でつくられた尿をためておく筋肉でできた袋です。尿で伸展されると、尿意として感じ、筋肉が収縮することによって尿を出しきる働きがあります。

膀胱内に尿道から細菌が入り炎症を起こすと膀胱炎となり、排尿時の痛みや「尿が近い」、「残った感じがする」などの症状を来しますが、抗生物質により容易に改善しますが、改善がみられない場合には、原因となる異常やほかの病気が考えられます。

膀胱の働きをつかさどる神経の異常により、尿が近くなったり、もれたり、勢いが悪くなったりする病気があり、神経因性膀胱と呼ばれています。残尿が多いと膀胱炎を繰り返

す原因になり、さらには腎臓へ影響してくることがあります。最近では、尿意切迫感(尿がもれそうな感じ)を伴った状態を取り立てて過活動膀胱と呼んでいます。尿が近い、尿がもれる原因にもなり、膀胱の神経を調節する頻尿治療薬が用いられます。

一方、通常の頻尿治療薬では改善せず、ときには尿がたまると痛みも感じることのある間質性膀胱炎という病気もあります。これに対しては膀胱水圧拡張療法や薬物注入療法などが行われます。

最も注意すべきは膀胱がんです。尿が近い、残った感じがするなどの症状があることもありますが、血尿だけが唯一の症状であることもあります。少なくとも血尿かなと思われたら、痛くないからと放置せずに泌尿器科を受診することをお勧めします。

泌尿器科 信野祐一郎

